

# エゾシカ保護管理検討会（H25.7.7）の開催結果について

## 1 平成 24（2012）年度エゾシカ個体数指数について

\* 個体数指数：各種調査から得られた結果について、基準年の値を 100 として基準化し、毎年の生息動向を相対値で表したもの。

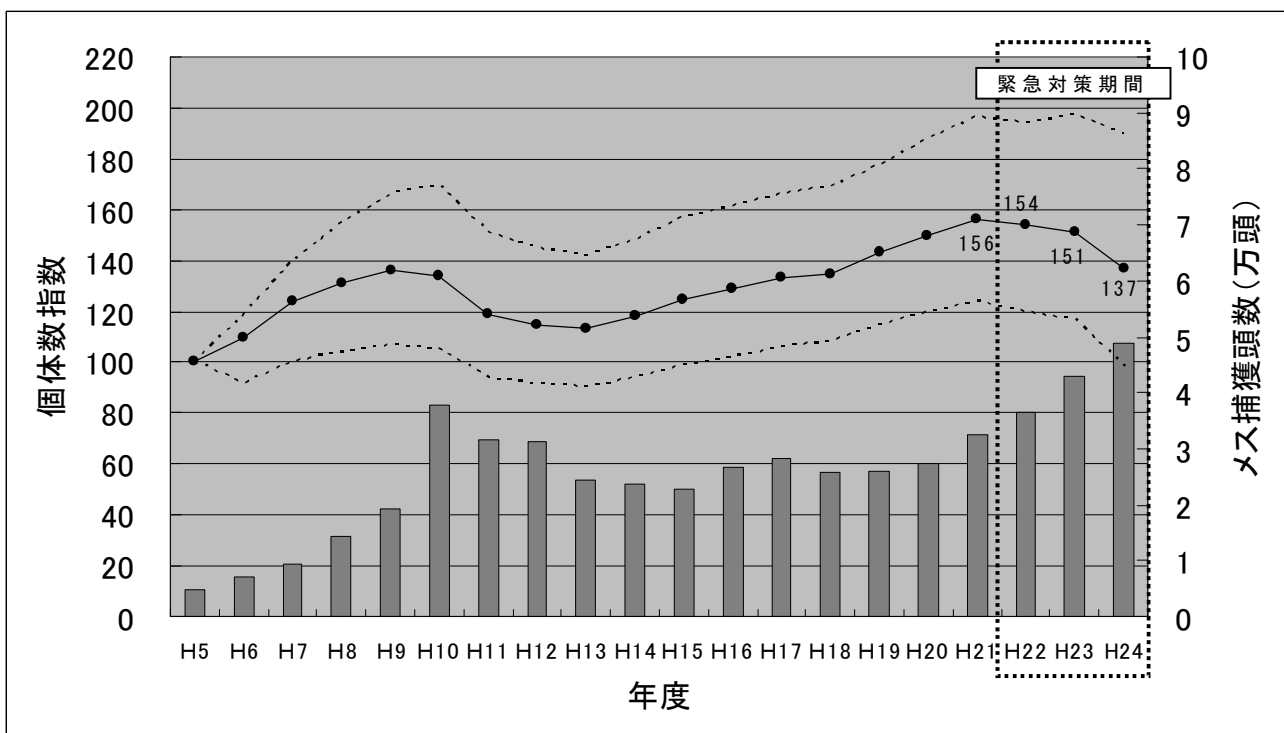
### （1）東部地域（オホーツク、十勝、釧路、根室総合振興局・振興局管内）

137 ± 50（95% 区間）

【平成 24（2012）年 10 月（狩猟期前）時点，平成 5（1993）年度を 100 とした指数】

- ・ 平成 23（2011）年度は最新データの解析によって、151 ± 45（95% 区間）と修正された。
- ・ 東部地域については、平成 14（2002）年頃から増加に転じ、平成 21（2009）年度には過去最高の個体数に達したが、平成 22（2010）年度には増加を食い止めたと推測され、平成 24（2012）年度には減少した可能性が高い。
- ・ 1 年当りの増加率を 21% と仮定すると、平成 23（2011）年度の生息頭数は、新たな解析によって、24 万頭から 44 万頭の間であり（95% 区間）、平成 24（2012）年度は 20 万頭から 44 万頭の間にある（95% 区間）と推定される。

個体数指数のバイズ推定値（東部・シカ柵考慮・各年度狩猟期前）

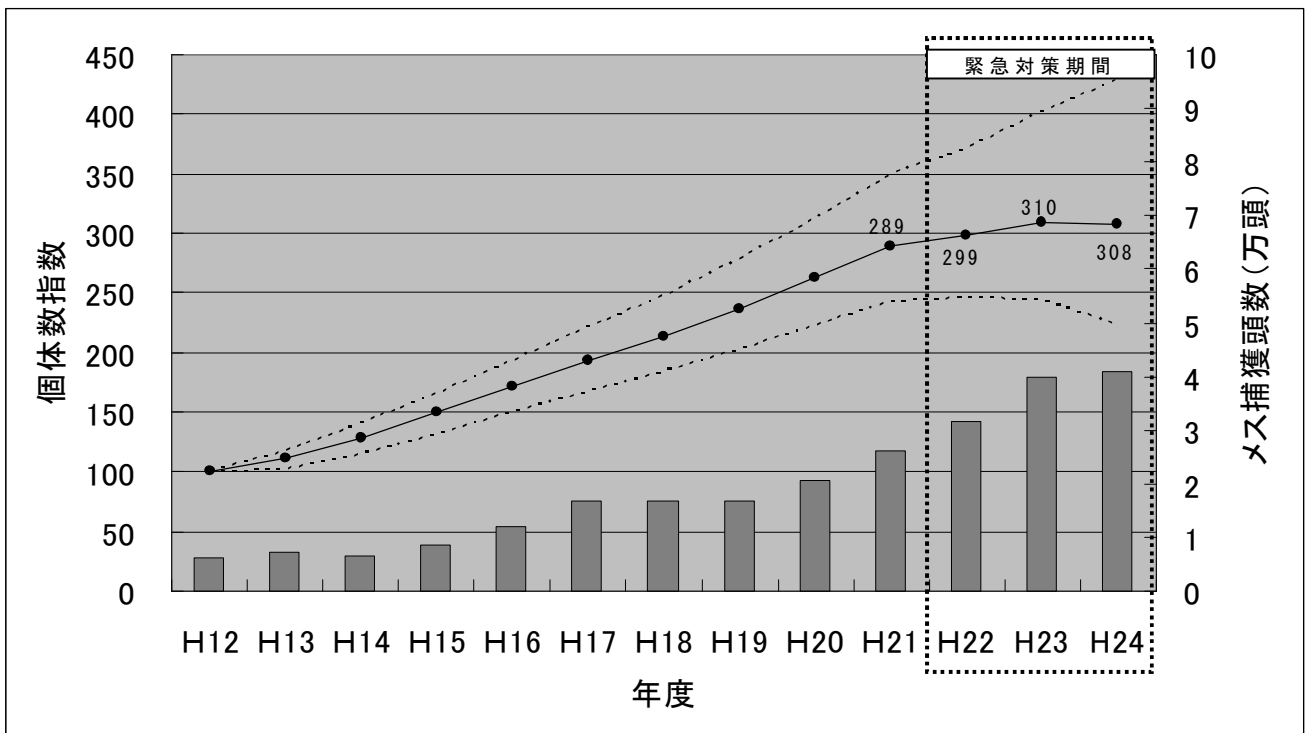


(2) 西部地域（石狩、空知、上川、留萌、宗谷、胆振、日高総合振興局・振興局管内）  
**310 ± 100（95%区間）**

【平成 24（2012）年 10 月（狩猟期前）時点，平成 12（2000）年度を 100 とした暫定値】

- ・ 平成 23（2011）年度は、最新データの解析によって、310 ± 90（95%区間）と修正された。
- ・ なお、今年から西部地域の推定方法を変更したため、有効数字を二桁とする。
- ・ 西部地域の個体数指数は、全域で増加傾向が続いていたが、平成 22（2010）年度には増加が鈍化し、平成 24（2012）年度には、**増加を食い止めた可能性がある**。
- ・ 1 年当りの増加率を 21% と仮定すると、新たな解析によって、平成 23（2011）年度の生息頭数は 26 万頭から 52 万頭の間にある（95%区間）、平成 24（2012）年度は 23 万頭から 56 万頭の間にある（95%区間）と推定される。
- ・ 平成 23（2011）年度の狩猟によるメスジカ捕獲頭数は約 1 万 8 千頭、許可捕獲による捕獲頭数は約 2 万 2 千頭と過去最高を記録した。第 4 期エゾシカ保護管理計画の目標の達成のためには、平成 23（2011）年度以上のメスジカ捕獲頭数が必要である。

個体数指数のベイズ推定値（西部・各年度狩猟期前）



(3) 南部地域（渡島、檜山、後志総合振興局・振興局管内）

- ・ 南部地域については調査年が少なく、指数を算定するには情報が足りない。しかし、分布が拡大し局地的に高密度の地域が観察されている。
- ・ また、平成 19（2007）年度に比べて平成 24（2012）年度の列車支障件数が約 3 倍、努力量当りの捕獲頭数及び目撃頭数も増加しており、一層の捕獲圧をかけることが必要である。